逗子海水浴場のあり方検討会 概要

平成 27 年 1 月 13 日（火） 14：30～16：30

逗子市役所 5 階 第 7 会議室

1. 開会

- ・ 事務局よりあり方検討会は傍聴できることと、メディアの頭撮りについて説明。
- ・ 事務局より議題及びあり方検討会最終報告書は 1 月末には市長に報告を行うことを説明。
- ・ 資料確認

2. 議題 -安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例施行規則について-

- ・ 座長あいさつ
- ・ 2 月であり方検討会は終わること、1 月末には最終報告書を市長に提出することを説明。

<座長> 規則の中の、海の家音楽・営業時間について議論・検討を行いたい。前回、海岸組合からの意見が出揃っていないとの指摘もあったので、海岸組合から説明をして頂きたい。

<海岸組合> ～～資料の説明～～

- ・ ルール遵守の為の仕組みについて、発足予定の協議会で決定したルールを遵守すること、ルールを遵守することを前提・条件として出店を認めること、万が一ルール違反者が出た場合には協議会において審議することや、代表理事が現場確認したものにおいては速やかに対処すること。これらを代表理事の責任の下、約束すること。

具体案としては、誓約書と出店者名簿を市に提出することや、出店者証を店舗の目立つ場所に掲示すること。さらなる詳細な方法としては、協議会において協議・検討したいこと。

- ・ 利用者に、夕日を見ながら夕食を楽しみゆっくり帰ってもらいたいこと、また、今年もライブハウスの出店を受け付けず、浜が飲酒禁止であれば飲み過ぎは店内では制御できることから、閉店時間は 21 時を望む。
- ・ 遊技部会の休部及び、ライブハウスとクラブ営業は認めない。スピーカーのサイズを指定する等の方策を考え、砂浜では聞こえず店内でしか聞こえない音量で、利用者へのサービスとして BGM を流したい。

～～～～～～～～

これまでの体制の不備や対応の不足に対して、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。皆様が最も心配されている事について、今後は新たな体制のもとルールを遵守して営業することをお約束するので、よろしく願います。

<座長> 海岸組合より説明があったが、ルールが確実に遵守されることが前提であり、そうであれば海水浴場も本質的に静かで快適なファミリービーチになり得るように思う。それについて皆様のご意見を伺いたい。また、海岸組合が決意を表明したことについて、評価をしたいと思い、あとは、確実に実行できるのかということ、そして営業時間と音楽について

ファミリービーチとして本質的にどの程度が許容範囲なのかを皆様にイメージして頂いて、議論を先に進めたいと考えている。

- 今回の資料を提示するにあたり、全組合員と協議してあり方検討会で提示することに同意を得ているのか。

<海岸組合> 役員のみである。これまで組合員と話し合いをしてきた中で、営業時間に関しては、昨年度かそれ以前の営業時間に戻して欲しいという声があったので、決を採ったわけではないが21時とした。

- ルールを遵守すると言って頂いたのは良いことだと思うが、それを全組合員が遵守するという決議を経た上で提示していただければ納得できるが、役員のみで決め、他の組合員が知らない中で提示されたのであれば、遵守できるのか疑問が残る。

<海岸組合> ルールを遵守することを前提として出店を受け付けるので、決められたことを組合員は遵守するというスタンスでやっていくことを考えている。

- 誓約書に、海岸組合の定款・規約・自主規制を遵守するという項目があるのだが、それらを一般公開し、市民等にもルールを遵守していることがわかる様にして頂きたく、また、もし違反者を見つけた場合の連絡先・受付窓口の様な体制についても示して頂きたい。

<海岸組合> その様な詳細についても、協議会の中で、議論・決定をして頂きたく思っている。

<事務局> 海岸組合とは、4月から市の体制も変わった中で話し合いが出来ているところである。その様な中で、新たな協議会の詳細は決まっていないが、ルール違反への対処方法や誓約書の文面等の詳細については詰めていきたいと考えている。

- 誓約書の提出等については、既に何度か聞いている。前回の話では、具体的な取り締まり方法や処罰の方法等について、提示していただけたらなと思うのだが。

<海岸組合> その様な詳細についても、議論・決定をして頂ければと思っている。

- 海の家出店受付と出店者が確定する流れ、また、末端まで役員の意向が浸透する仕組みがあるのかを教えて頂ければ皆様の不安も払拭出来るのではないかと。

<海岸組合> 3月に出店者の受付を行っており、出店するか休業するかはその時に分かる。受付の際に、ルールや運営の方針に関することを説明し、それに則って受け付けたいと思っている。

- 誓約書は誰が書くのか。権利を持つ組合員なのか。

<海岸組合> 基本的には、権利を持つ組合員が全ての責任を負うことになる。

- 過去の事例で、実際に又貸しをしていた事例というのはどの位あるのか。

<海岸組合> 組合員が毎日海の家で働いている場合もあれば、組合員が代表者として出資をして他の者に働かせている場合もある。3月の出店受付の際には、組合員と店舗責任者がいる場合にはその者も一緒に説明を受けに来ている。その前に、代表理事へその年の海の家の出店に関して相談が来ることもある。

- 毎年、海の家配置図と実際にその場所にある海の家の名前が違うことがあるので、又貸しは歴然としているのではないかと感じる。組合員と店舗責任者が違うことにより、ルールを守る、守らない、ということや、聞いている、聞いていない、等の問題が起きないか、抜け道が無いかということが心配である。

- 誓約書の署名欄を、出店者証と同様に出店責任者と組合員の連名にすれば、現場の人間が聞いていないという事態は起きないのでは。

<海岸組合> 今までは無かった、出店者証を店舗に掲示することで、組合員が誰かが分かるようになり、従業員の違反＝組合員の違反ということで対処したいと考えている。

基本的には違反者が居ない前提だが、万が一違反者が出た場合には名簿を提出することによって、組合員を処罰でき、またその為の名簿でもあるので、書いて提出するだけではなく、実効性のある物としたい。

- アルバイトの様な末端従業員が、勝手に違反することもある。その様な事を確実に取り締まれるシステムについて聞いたかった。代表理事が現場に着いた時には、もう違反を止めるなど、見えないところでの違反は実際に起きている。安心できる物が無いと、何とも言えない。

また、又貸しのように海岸組合には見えないところが多過ぎるので、皆が不安に思っており、その辺りのことをハッキリ聞きたいというのが前回の話では無かっただろうか。

<海岸組合> その様なことが無いように、代表理事の下きちんと約束をしてもらい出店を受け付けるようにし、違反があった場合には処罰が行える体制を作ることを考えている。

- 3月に店舗者受付があるということは、違反をされると思われる者が今年も出店するか否かを3月中にはチェックできる体制ができるということか。

<海岸組合> 過去に問題を起こした者は入れない等の、我々役員も海岸組合を健全に運営したいと考えており、問題になることは避けたいと考えているので、慎重に調査しながら出店者を受け付けることを約束する。問題を起こした人物が別の人物と繋がっていて問題を起こした場合には、誓約書も書いて頂いているので、素早く問題となる店舗に対処する。

それ以外に役員の目の届かないところで動いている場合には把握が難しくイタチゴッコになってしまうが、それは避けたいので、肝心となる出店受付の際に海岸組合としてしっかりと説明をして、そこで問題が起きないように取り組むことを約束する。

- 一部の違反者により、海岸組合全体が悪く見られるのは心苦しいので、海の家を精査した方が良くと思う。ルール違反をするであろう海の家について、海岸組合は何となく知っていても、海水浴期間中は自分の海の家もあり、常に監視するのは現実的に難しいだろう。その様な海の家について、協議会のメンバー等が客観的に分かるようにし、過去に違反した海の家を知っている者が事務局に情報提供するなどの方法で、問題は解決できるのではないか。

今回、海岸組合がルール遵守への意思を表明したので、これが実行できることを仮定して、議論を行った方が良くのではないか。

- 出店受付を厳しくすることは賛成する。ただ、毎年一部の海の家がルールを違反しており、海岸組合に通報しようにも事務局が留守であったり、連絡先が分からなかったりして、海岸組合が現場を把握する前に、ルール違反が終わってしまい、結局違反した者勝ちとなってしまう。なので、すぐに通報できる仕組み、運用中にも連絡できる仕組みが必要だと思うので、作って欲しい。例えば、海岸の数か所に連絡先を掲示するとか。

<海岸組合> 市役所だけでは無く、皆様にも必要に応じて、代表理事や役員の連絡先を公表するなど

して、もしもの時の対応ができるように取り組みたい。

- 海岸組合の代表理事・役員が、ルール遵守の仕組みや営業時間・音楽について提示したこと自体は評価したい。提示した内容が本当に実行できれば問題はなく、海岸組合が望む営業時間・音楽について、議論・譲歩できる余地があると思う。

しかし、今までも誓約書を提出していたが違反者が居たこと、近隣住民からの苦情に対して違反していないと言っていたこと、前代表理事が電話に出なかったこと等を知っているため、ちょっと前に戻っただけで結局実行できない、と近隣住民は思うだろう。今までと違うやり方が示されていれば、話は違いかも知れないが。実行できる仕組みを提案してもらいたい。その仕組みは皆様と考えていきたいということだが、前回、あり方検討会のメンバーは組合員についてよく分からないため、組合員名簿を提示して欲しいということになり、提示して頂ける話であったが今回無いので残念である。結局、あり方検討会のメンバーは、組合員が誰なのか、実際に営業しているのが誰なのかがわからない。

昨年の名簿でも出して頂ければ、どの海の家は良くない等のことをメンバーの中でも一致できる。皆様が、頭の中でどの海の家は良くて、どの海の家は悪いと思っているだけでは、真面目に営業している人が損である。そうではなく、今の組合員を知ることによって、組合員ではなく又貸しだろうと思われる人をメンバーでチェックすれば良い。

そこが払拭できない限り、近隣住民は現状維持で良いというスタンスである。払拭できなければ、自治会代表で出席しているメンバーも、自治会員に対して説明が出来ない。決意としては受け取れたが、その説明が出来る資料を提示して貰いたい。書いてあるが実行が出来てないとなれば、そこでお終いなので、新たな一步を踏み出して欲しい。

以前に提案したこともあるが、自治会の役員会に参加して直接説明するなどの活動をして欲しい。そのような場を作ることに對しては協力する。もっと住民と面と向かい、住民の声・苦情等を聞き入れて対話する活動をしてもらいたい。

別の話になるが、誓約書に車の乗り入れ可能時間が書いてあることによって、特定の海の家が車で乗り入れるのが当たり前であり、自分達には権利があると勘違いしている。車の乗り入れについても問題となっているので、該当箇所については不要、又はルールを遵守するという記述のみとして、ルールの中で詳細に決めた方が良いと思う。

真面目に営業している海の家は良いが、悪い海の家をどうにかして欲しく、必要に応じては協力するというのが、皆様の考えだろう。

<海岸組合> これまでの対応の悪さについては、誠に申し訳なく思っているおり、反省している。

- 前代表理事は、役員として未だに残っているのか。いつまでも居るのであれば、現代表理事が変わろうと努力していても、影響があるのではないか、とってしまう。

<座長> 皆様、其々のご意見出たようなので、海岸組合が意思を表明したのでこれはこれとして認め、メンバーからのご意見も精査して頂き、きちんとした書類に基づいて、再度メンバーの皆様に提示して頂くということによろしいか。

<逗子警察署> 昨年条例が改正された経緯としては、治安の悪化や風紀の乱れ等と、海水浴場としての原点回帰、正しい運営のためだと認識している。海水浴場の原点を考えると、遊泳者のために開設される物であり、海の家等は遊泳者のための付随設備である。一昨年の海水浴場

近辺での殺人事件以外には特に大きな犯罪は無かったが、周辺住民の方が深夜まで迷惑を被っている事情は10年ほどあった。警察の活動は海水浴場に来るだけではなく、海水浴場開設時間外も周辺の新宿地区を中心に多くの警察官がパトロールしていた。安全で快適なファミリービーチという原点に立ち戻る市の条例が成立されたのであれば、仮に海の家が夜まで営業を行ったとして、夜・夕方に海に入ってしまう人を誰が監視して誰が助けるのか等の、遊泳時間終了後の風紀・治安・安全の確保や、危機管理方法、監視体制についても議論を含めて頂き、市民目線で総合的に考えて頂きたい。その為には、警察も快く後方支援をさせて頂きたい。

今年、原代表理事の下での海岸組合や警備員等は非常に良くやって頂き、連携が取れたと思っているので、海岸組合には問題があると思われる海の家への対策を強い信念を持ってやって頂きたいと思う。

- ずっと言ってきたのだが、営業時間とかライブの音ではなくて、海の家のもラルの問題であるということである。昨シーズンはかなり良くなりはしたが、17時過ぎるとライフジャケット等の安全対策もせずに、飲酒したお客をカヤックに乗せている海の家もあった。そのカヤックは一度沈むと大変な物であるため何度か注意をしたが、全く聞いていなかった。その様な海の家があるため、お酒のことも含めて17時以降は心配である。

全体的なもラルの問題。全ての海の家が、お客の安全等もひっくるめて営業しているということをも真摯に考えて頂かないと、全く信用できない。

<海岸組合> 夏のあり方検討会を傍聴している際に、その海を家の当人も居たので、わかっているとは思っている。

- その後も、カヤックを出していた。

<海岸組合> その様なことも含めて、組合役員に連絡が届かないこともあったので、連絡体制を今後しっかり作っていきたくて考えている。

<逗子警察署> 参考までにだが、警察のシステムで入力しているものの数字なのだが、逗子市内全体での平成25年の刑法犯認知件数は340件、平成26年が250件であり、90件と大きく減少した。これは、水上警察署と葉山警察署を除いて、神奈川県で一番少ないのが逗子警察署であり、津久井警察署と同程度である。

要因としては考えられることは、警察と市民の連携による防犯等に関する様々な取り組み・活動の成果が出ていることや、海水浴場の条例の改正も一つとしてあるだろう。

色々なところが静かになれば、犯罪は発生しにくくなる。

<座長> 最終的判断は市長がすることであるが、報告書にメンバーからの提案を記載したいと思うので、営業時間と音楽について、海岸組合より提案のあったことについてご意見を伺いたい。

- 21時は個人的には良いと思うが、それでは平成25年の状況に戻ってしまうという印象を市民に与えてしまうのでは。せめて営業に支障が少ないと思われる、20時30分か20時にすれば、振興の側面も考えて検討した結果の落としどころとして示せるのではないかと。
- 海岸組合の提案に基づいて、1年も見ないうちから緩和することには反対だが、夕日を見ながら夕食をとるという気持ちはわかる。ただ、夏の日が長い時期の日没が19時くらいだと

思うので、21 時では長すぎる。21 時では、子ども達の塾帰りの時間と被るので、治安・風紀の面でも心配である。せめて 20 時くらいにして欲しい。

<海岸組合> 平成 25 年の治安の悪化は、クラブ営業と、持ち込みの酒類による泥酔者が原因だと考えている。それらが今後は無いということで、営業時間は 2～3 年前のように 21 時に戻して頂ければと思っている。

- 1 年間しか現行ルールを実施していないので、現状維持だろう。近隣住民は 10 年間程迷惑を被っているので、それに比べたら 1 年間のみでは評価出来ず、10 年間は現状維持をしないと無理だろう。音楽も、最初は店内でしか聞こえないようにすると始めた結果が、昨年度までのようになったので、守れないと思う。

ただ、唯一良かったのは、治安の悪化、風紀の乱れの原因がライブハウスだと認め、出店させないと言ったのは評価できる。ただ、今年度同様休部するということは、今後復活する可能性があるということで、反省していないのでは。

昨年度、東浜でボート組合が営業していた ZBBQ についても、海岸の占用許可を得ているのは海岸組合なので、全く無関係ということではないのではないか。様々なところで、いい加減な事ばかり言っている人が未だに営業していて、できるわけがない。

現状維持で良い。そうでなければ自治会員に説明ができず、以前と同様の状態になってしまった際には責任も取れない。

- 基本的には、海岸組合から提示された考えについて賛成である。10 年間分をそのまま返すという復讐では無いのでは。何がこれから生み出され、それによって逗子市がどうなっていくのかの為に、皆様前回まで案を出し、議論をしてきたのだと思う。

皆様、21 時が是か非かではなくて、信じられるか否かが全てとなっている。定款に則って営業停止にするというルールが示されているので、これ以上仕組みを示して欲しいと言われても、示しようが無いのではと思う。海岸組合は提示した事を守れると言っており、それが信じられないのであれば、例えば海開きをしてから様子を見て、ダメであればすぐに元に戻し、3 年間は変更しない等のやり方はできないものか。

今のままでは、前に進まないと考える。今後発足する協議会の中身が重要となってくるだろう。

- 現状維持に賛成する。今年度、訴訟中であった中で営業努力をしていた海の家も何軒もあったが、投げやりな海の家もあり、海岸組合として営業努力をしている様には感じられなかった。来年度は、海の家も最小限な状況下で出来ることを探す等の最大限の営業努力をし、それをあり方検討会、来年度は協議会かも知れないが、のメンバーが見て判断しても良いと思う。

<海岸組合> 砂浜での条例・規則等のルールについては、これまで通り海岸組合としても協力をする所存である。営業時間と音楽に関しては、利用者からのニーズが圧倒的に多く、経営の観点からも 18 時 30 分は厳しく、営業時間を延ばして頂きたいという思いである。

- 今年度、話し合いをしたということも一つの成果だと考えているので、海岸組合から提示された 21 時と 18 時 30 分の間で設定されるのが良いと考える。

現状維持という意見についても理解できるが次に進むことを考えた際に、例えば、お盆

前後の金土日の特別な場合、のように特定期間のみ営業時間を延ばすようにすれば、花火大会の時と同じ様な感じで、近隣住民の方等にも受け入れてもらえやすくなるのではないかと。市長への報告書の中に、この様な考え方も記載して欲しい。

- 昭和の一番海が賑わっていた頃は、18時にはお客さんがほぼ全員帰っており、19時にはよしずで正面を閉め、中で関係者が食事をしていたりした。本来の海の家役割である更衣所として、それで十分成り立っていた。営業時間を延ばさないと、経営が厳しいというのは営業努力が足りないのではないかと思ってしまう。営業努力をすれば営業時間に拘らなくても、やっていけるのでは、と感じる。

特別な日を認めてしまうと、それを勝手に解釈する海の家が再び出てきてしまい、昨年度のような状況に戻ってしまう恐れがあるのではないかと。抜け道があると、ごく一部の海の家ではあると思うが、都合良く解釈する者が出てくるので、明確に何時までと決めた方が良く考える。

- 10年間迷惑を被ってきて、海岸組合が信用できないという意見も十分理解できる。ただ、前回のアンケートでは、この場では声の大きい人に流されてしまい意見が言えない人でも、言いたい事を言えているはずであり、集計結果も出ているので、これをあり方検討会の意見と見なしても良いのではないだろうか。

海岸組合が、来年度はこれまでの成果を守ろうとして、しっかりやるので見て欲しいと皆様に訴えられているので、それを信じたいと思う。監視する役目は、海岸組合もそうだが、主に市民だと考えている。詳細は今後詰めていくとして、連絡体制・方法の整備をしっかりとって欲しい。

市民が良い海水浴場を目指す気運を、海岸組合も市民の一部として守っていこう、ということの表れが今回の決意だと受け取っている。

- そのような意見にも賛成だが、それならば監視所が閉まった後に飲酒した利用者が海に入ってしまうこと等に対する、危機管理方法・安全担保の提案をしていただきたい。
- ライフセーバーの勤務時間は17時までだが、ほぼ毎日19時ごろまで練習をしているので、何か起きれば出動したり対応したりすることは出来る。飲酒した者が海に入ってしまうのは、当人のモラルの問題であつたりすると思うので、少なくとも、警備員が居る21時までには、利用者が全員帰るような状態にした方が良く考える。なので、21時まででは遅いのではないかと思う。
- 海岸組合もさることながら、市内商業者も70店舗近くという多くの者が海水浴場の影響があり、売り上げが減少している。営業時間が短かったことが飲食店等に影響を与えているので、市長の最終的な判断の際には、この様な事も考慮して頂きたい。
- 具体的に、海岸組合内でのルールを遵守させる部会・部署のような組織を作り、ルール遵守を担保するという事を提案して頂かないと信用してもらえないと思う。それによって営業時間等の話になると考える。

営業時間についてだが、21時は遅いと思う。20時位に海から街に出て飲んで貰い、23時位に帰って頂くというのが、ちょうどよいのではと思う。それで1年やってみた結果で、その先の話になるだろう。

そこをきちんと、付帯条件を付けて、市長に報告して欲しい。

- 海岸組合の提示したことを信用して、ただし1軒でもルール違反者が出たら、通報者の善意を信じたうえで確認したか否かに関わらず、今年度同様の状態に戻したり、違反した海の家を追放したりする等の厳しい罰則・条件のもとで、緩和しても良いのではないか。

そのように厳しくやれば、言い逃れも等できないであろう。

- それを出来れば、建築・解体期間にもやって頂きたい。

<座長> 総論としては、やはり海岸組合の代表理事以下全員の姿勢の問題なのだろう。末端の組合員までも一枚岩となって、ルール遵守の決意をして事にあたって頂きたいと思う。

- 皆様の意見や市全体の事も考えると、20時辺りが落とし所になるのではないかと思う。また、音楽に関しては、全て禁止では無く、津波情報等の防災上の関係でFMラジオ程度なら良いのでは、と言ったアイデアも必要だと感じる。

現状維持という意見も、お酒を飲みたいという意見も、どちらも良くわかる。

逗子海岸の夕日はとても綺麗で、寒い時期にも関わらず日没時には、多くの人が写真撮影等に来ている。それこそがファミリービーチ、逗子の海岸の良いところで、これが夏にあれば、それも逗子を良い街と感じる一因となるだろう。モラル等の問題もあるが、逗子の海は良いのだ、静かな海なのだ、と言いつけることも私たちの役目であろう。

- 音楽のことだが、海岸で結婚式を挙げたいというニーズもある。結婚式に音楽は付き物なので、ライブ等と違い、特別ということで市や海岸組合からの許可のもとで認めても良いのでは。
- 海岸で結婚式を挙げているのを見たことがある。海岸利用の一つのあり方としても良いのでは。

<座長> 今回の議論はここまでとさせて頂くが、事務局より何かあるか。

<事務局> 今回資料として配布した最終報告書（案）の概要について説明させて頂く。

～～最終報告書（案）の概要説明～～

補足なのだが、中・長期的なあり方に関する項目については、今まで条例・規則等に関する議論を優先してきたため、議論が出来ていないので、次回議論して頂きたいと考えている。

今回のあり方検討会を踏まえて作成する箇所については、後日意見を伺いたいと考えている。1月中には最終報告書を作成して、2月上旬には座長より市長へ報告して頂く予定である。

次回が最後のあり方検討であり、2月中旬を予定している。具体的な日時が決まり次第、皆様にご連絡させて頂く。議題は、中・長期的なあり方に関する項目と、今後の海水浴場ルール策定や運営に関わる組織についてを予定している。

出席者一覧

所属		職名	氏名	備考	
1	公募の市民	市民メンバー	菊井 健一		
			熊岡 寛展		
			大島 純一		
2	観光・商工団体	逗子市観光協会	事務局長	田代 朋子	
		逗子市商工会	副会長	三宅 譲	
		逗子市中央商店街連合会	会長	桐ヶ谷 覚	欠席
3	学校関係団体	逗子市小学校校長会	小坪小学校長	高橋 和美	
		逗子市中学校校長会	逗子中学校長	服部 純子	
		逗子市PTA連絡協議会	池子小学校PTA会長	辻本 順子	
			久木中学校PTA副会長	横山 奈緒子	
4	逗子海岸近隣 町内会・自治会	逗子市新宿町内会	暫定再生委員会会長	石井 康生	
		下桜山交友会	環境担当部長	菊池 伸介	欠席
		逗子6丁目の会	会長	徳本 恒徳	欠席
		逗子7丁目東自治会	顧問	原田 義郎	(代理) 顧問：菊池 俊一
5	児童・青少年 関連団体	新宿地区青少年育成推進の会	会長	安重 宣子	
		新宿子ども会	代表	手島 麻由子	
		逗子市民生委員児童委員協議会	主任児童委員	飯野 幸	
6	防犯団体	逗子市防犯協会	会長	和田 修芳	
		逗葉地区保護司会	会長	岸本 光瑞	(代理) 監事：足立 泰秀
7	海岸にて活動する 事業者	逗子海岸営業協同組合	代表理事	原 敦	
		逗子マリン連盟	代表	小林 伸之	
8	関係行政機関 の職員	神奈川県逗子警察署	地域課長	古橋 雅之	
		神奈川県横須賀三浦地域 県政総合センター	企画調整課長兼 商工観光課長	中羽 加代子	
		神奈川県鎌倉保健福祉事務所	生活衛生部長兼 環境衛生課長	奥津 幸夫	
		神奈川県横須賀土木事務所	許認可指導課長	徳永 義宏	
9	市職員	市民協働部	部長	福井 昌雄	
10	その他市長が必要 があると認めた者	逗子サーフライセービングクラブ	顧問	歌代 光雄	
		逗子30'sプロジェクト		田中 美乃里	
		ずし60'sプロジェクト		深澤 忠房	

事務局

所 属	職 名	氏 名
市民協働部	次長 生活安全課長事務取扱	高橋 佳代
経済観光課	課長	岩佐 正朗
経済観光課	経済観光係長	鈴木 仁
経済観光課	主事	池田 祐一